



# ほんきであれ



多古町立多古第一小学校  
2025年7月11日第12号(115号)

— たくましく生きる子どもの育成 —

## 祖父母家庭教育学級 開催



7月3日(木)、祖父母家庭教育学級を開催しました。この学級は、小学校の持ち回りで開催され、年4回開かれます。本校では5年生が担当することとなりました。この日は、5年生の祖父母の方が20名登録していただいた中、10名の祖父母の方に参加していただきました。

開会行事の後、「家庭における祖父母の役割」の演題で、人権擁護委員の及川先生から講演がありました。講演の中では、5つのポイントを挙げてわかりやすくお話をされていました。その後、5年生の子供たちとの交流で、アイスブレイクトーク(さいころの出た目の内容を話す)やじゃんけんピラミッドを行いました。活動中は、祖父母の方も子供たちも笑顔一杯で楽しんでいました。子供たちにとって短い時間でしたが、来校していただいた祖父母の皆様と触れ合うことができ、とても良い経験をすることができました。ありがとうございました。

### PTAベルマーク委員会開催 御協力ありがとうございました

6月26日(木)、PTAのベルマーク委員会を開催しました。このベルマーク委員会では、保護者の皆様が集めて持ってきていただいたベルマークを集約しています。協賛してくれる企業の数も年々減少してきていますが、ベルマークを見つけては、子供たちのために集めて持ち寄っていただき本当にありがとうございます。こうして貯めたベルマーク預金は、今年度も子供たちの教育活動に役立てていきます。御協力ありがとうございました。

# 航空講話事業 空港の仕事って？



＜金属探知機をつかった実演＞



＜空港のお仕事の説明＞

7月8日（火）、毎年恒例の航空講話の授業を行いました。この授業は、毎年5年生のキャリア教育の一環として、実施しているものです。

今年度は、NAA（成田国際空港株式会社）やJALの方を講師に、成田空港の拡張工事（第三滑走路建築）による、成田空港の未来と空港警備、パイロット等のお仕事に関する内容を説明していただきました。中でも、成田空港で働く人が今よりも2倍の7万人に増えること、空港警備に関わる人が1日平均40,000歩を歩いていること、パイロットの1か月の仕事の予定などを、クイズを交えながら詳しく教えていただきました。全部の説明が終わった後の質問も子供たちの間からたくさん出て、成田空港のお仕事に対する興味関心が高まりました。空港の方が、「ぜひ成田空港で将来働いてください」という呼びかけに、子供たちも元気にこたえていました。

キャリア教育では、将来の仕事の職業観や勤労観の基礎を学ぶことが重要とされています。その点でも、この航空講話事業における授業は、子供たちにとって、とても有意義なものになりました。

## 新校舎の建設状況



### 7月7日現在の状況

5月29日（木）から、新校舎の建築が始まりました。新校舎は、2階建てで、1階を本校で6教室使用し、2階が学童保育で利用することになっています。多種多様な重機を使い、あっという間に植えてあった樹木や鉄棒等がなくなり、現在は基礎のコンクリートを流すまでとなりました。この夏休みには、現在の校舎にも新しい空調設備が取り付けられる予定です。建設状況については、随時お知らせしていきます。